

**パークアルカディア プラネタリウム館上映番組のお知らせ**

**【上映番組】**

「星空へのリクエスト～おなじ空の下で～」(上映時間25分)

〈あらすじ〉

小学校5年生のテツヤが自作のラジオで聴いた「星空ポスト」は、その港街に暮らす人たちの“星への想い”をつづる番組だった。人と人をつなぐ星、まだ見ぬ遠い命の星…リスナーと共にテツヤの想いもまた、遥か宇宙の彼方へと広がっていく。ラジオから流れる美しい語りと音楽が、今夜もまた、星が降る港街を夢と優しさに包みこむ。

○上映期間

10月4日(火)～12月28日(水)

○時間

【平日】

10:00 / 13:30

【土・日曜日、祝日】

10:00 / 13:30 / 15:00

※20名以上の団体は上記時間以外でも上映します。



あったらいいな、こんなラジオ番組。

小学校5年生のテツヤが、自作のラジオではじめて聴いた番組は「星空ポスト」。彼の住む港街の人々が星空に託す想い。ラジオの電波にのせて語られる様々なエピソード。テツヤはリスナーと共に星空を見上げ、「星の力」に気づきます。生命の可能性を秘める「系外惑星」の存在、そして電波にのった自分の声が宇宙を旅することを知り、テツヤもまた、未来の自分に向かって「リクエスト」を託すのです。

**「星空ポスト」の“プログラム”紹介**

|   |  |
|---|--|
| <p>リスナーからの「星空に託す想い」のお手紙紹介</p> <p>カフェから大きな月をみた女子学生から片思いの人へ</p> <p>次のコロと流れ星をみた3年生の女の子からコロへ</p> <p>長い航海に出ている父親から家族へ</p> <p>一人を感じる女子高生からみなさんへ</p> | <p>星空なんでも質問箱</p> <p>「星空博士・しばや先生に聞いてみよう!」</p> |
| <p>アッキーの天文トピックス</p> <p>今日のテーマ「系外惑星」</p>   |  |

脚本・演出 高橋真理子

山梨県立科学館でプラネタリウムに観覧し、独自にプロデュース。脚本を手がけた作品は、20年以上、「つなぐ」「つたえる」をキーワードに、人々が星を見上げる意味を追求しつつ、星を介して多分野と人をつなぐ番組制作に取り組んでいる。2013年に独立。星空工房アリシア代表。2008年、人間力大賞文化部門大賞受賞。2013年、日本博物館協会・活動奨励賞受賞。

音楽 小林真実

国立音楽大学応用演劇科卒業。作曲家・ピアニスト。これまでにオリジナル作品のCDを10枚リリースするほか、山梨県立科学館制作のプラネタリウム番組の音楽担当、小学校の校歌制作、作詞・作曲した合唱曲が教育出版発行の小中学校音楽家の教科書に採用されているなど、作曲、編曲活動は多岐にわたる。山梨県立県民文化ホール・アーティスト・アドバイザー、朝明学園芸術短期大学非常勤講師、山梨市観光大使。

声の出演 神田亜紀/ラジオパーソナリティ役

ラジオDJ、リポーター、MC、風しみやすいキャラクターとユーモアを交えたトークに定評がある。聞き手はもちろん、自分自身も楽しむ番組作りを心がけており、公衆無線マイクシステムのMCとしても活躍。Fahiq (STADIUM ROCK!!)、ODIBA RAINBOW STATION、RAINBOW CASAVANJ に出演中。

◆声の出演: 神田 亜紀/ラジオパーソナリティ役 山川 朋美/智也役 永田 美絵 (コスモプラネタリウム巡回解説員)/電話相談室 星空博士のしばや先生役

◆脚本・演出: 高橋 真理子 (星空工房アリシア)

◆音楽: 小林 真実/作曲・編曲とピアノ演奏 ◆音響制作: エス・シー・アライアンス ◆グラフィックデザイン: 山本 聖之 ◆音響効果: 新井 俊平

◆映像演出・制作: 中村 啓 ◆レイアウトデザイン: CG: 内原洋祐 (AND YAM) ◆デザイン: 小園 祐典 ◆制作進行: 原島 健史

◆プロデュース: 和田 孝志 (財団法人 科学技術広報財団) 豊川 英典 (エクスプローラーズジャパン)

◆企画: 財団法人 科学技術広報財団 ◆制作: エクスプローラーズジャパン ◆監修・制作: 神戸市立青少年科学館/神戸市教育委員会

○観覧料

【個人】

大人300円、小人100円、幼児50円

【団体(20名以上)】

大人240円、小人 80円、幼児40円

○休館日

月曜日・第4火曜日(休館日が祝日の場合は、その翌日に休館)

問 パークアルカディア プラネタリウム館

☎57-6161

公益財団法人 常陸大宮市振興財団

☎57-3325